

## 1,000人、20支部の実現を！ CU東京第3回定期大会開かれる

質問や活動報告などの発言が元気に



6月18日、ラパスホールにおいてCU東京第3回定期大会が開催されました。執行部・代議員41人、来賓4人、オブ参加4人の合計49人の出席となりました。結成3年目を迎え、大会を期に更なる前進を確認しあうことができました。

### 組織は確実に前進

昨年の大会では組織人員169人、今大会では274人の組合員となって大会を迎えました。支部結成が、あらたに港、千代田・中央、江戸川で行なわれました。足立では準備会が動きはじめています。

解雇、雇止め、賃金未払い、パワハラなど非正規労働者への労働条件悪化は減ることがありません。加えて大震災の影響が、雇用悪化として徐々に現れつつある中での大会となりました。

### 労働者から頼られる組合

昨年度、CU東京を頼って労働相談に来られた件数は、8支部の集約で165件となっています。地域の支部がこれらの労働相談を親身になって対応し、数々の解決をさせています。

大会は、こうしたたかひをすすめてきた、支部のこれまでの取り組みの成果や弱点などもリアルに報告され、参加者へCU東京の運動に確信を持たせるものとなりました。

大会は白滝副執行委員長の司会・開会あいさつではじまりました。議長は柳澤孝史さん（江東）、塚本雅彦（東京地評）が担当しました。



#### 市瀬正樹執行委員長の挨拶（要旨）

代議員、来賓、支援組織、協力組合員のみなさん、定期大会へのご参加ご苦勞様です。東日本大震災・福島原発事故は日本社会に未曾有の危機をもたらしました。

今ほど、労働組合の社会的役割が求められているときは有りません。組織率の低下に現れているように、現実との役割との「かい離」は大きくなっています。

こうしたとき、パート、派遣等の非正規労働者や中小企業で働く労働者の悩みや要求を地域で労働組合に結集する「地域ユニオン」の役割は極めて大きくなっています。CU東京の地域支部が、全都に広がることは未組織労働者の期待に応える地域労働運動にとって重要です。

参加代議員、支援組織のみなさんが、「CU東京のネットワーク」「地域で働く労働者の拠りどころ」となる地域ユニオン、CU東京の支部確立に引き続きご援助下さい。



### 期待は大きい



来賓の伊藤潤一東京地評議長は「2年間の成長の跡が見える。ネットワークを広げ活動家をさらに増やそう。」「いま大震災を口実に解雇が増える傾向、監督署も特例として認める動きだが、許されない。（労働者の）夢が持てるよう組織を増やしましょう」と挨拶。

同じく宮田清志東京土建副執行委員長は「政治が茶番劇している時か、国による被災地の復興を急ぐべき。三多摩地域でも解雇が続いている。労働者が組合づくりに動いている。地域労組は必要です。CU東京の強化が求められています。一緒に頑張りましょう」と挨拶。



この他、来賓として東京都労働相談情報センター神保敏夫さん、東京労働相談センター所長前澤檀さんが出席されました。

## 主な発言と質問など

### 組合員、三桁をめざして、名越秀和さん(江東)



「地域労組こうとう」は、この一年間で、35人の組合員が増え95人となり、三桁まであと一息となっています。組合員加入は、労働相談活動を通じてが多くなっています。一年間の特徴は、物流関係の不況で運輸関係の相談が増えていることです。労働審判に持ち込むケースの中にも運輸関係があります。

この間、新しい分会も結成されました。組合のない職場の中に労働組合をつくることは個人加盟労組の本源的役割です。そのために、個人加盟組織の宣伝、組合員による拡大、労働相談活動への参加者を増やすことと、そのノウハウを組合員全体のものとしていきます。労働者の権利や社会のしくみなどの学習を強めていきます。CU東京の発展を目指し引き続き奮闘します。

### 労働相談も増えている 青木一夫さん(港)

昨年、支部結成を行ないました。7月、2回目の支部総会を開きます。20人を超して総会を迎える予定です。



これまで76件の労働相談を受けています。当該労働者と一緒に団交を重ね、事案解決させています。「花畑牧場」の整理解雇問題にも取り組み、金銭解決となっています。原発問題の支部学習会を予定しています。

### 組合員の増加率1番 香取義和さん(千代田・中央)



労働相談が増えて支部は大変忙しくなっています。相談はパワハラ、賃金未払いなど深刻な内容です。組合員も相談活動を応援しています。結果的に、この1年では組合員の加入率は1番です。

月一回の地域宣伝行動の反映もあって、ビラをもって相談に来られる労働者もおります。宣伝行動後の交流会も大事にして、組合員の連帯も強めています。

### 家族の組合加入を 山田三平さん(文京)

7月の総会をめざして、組合員拡大をすすめています。月2回、区内4カ所の駅頭を順番で回って、組合宣伝行動を取組んでいます。組合案内を新聞折り込みもしています。



組合加入対象者として当面、労組活動家の家族で、組合未加入、非正規で働いている方へ呼びかけてい

行きます。

### 結成準備中 宮下武美(足立)



これまで、独自のビラをつくり、駅頭宣伝を行なってきています。労働相談日のお知らせも行なっています。組合役員の家族にもCU東京を紹介してもらっています。

### CU東京のブログ

千代田の渡辺さんは、「CU東京のブログを活用しよう」と労働相談の情報などにブログの活用を訴えました。(支部からの情報を宜しくお願いします)

この他、明治乳業の「高齢者雇用継続問題」で奮闘している山口さん(江東)から、支援の訴えがありました。

### 入院共済の改定について・質問

今回の入院共済改定について、佐藤さん(練馬)、高田さん(文京)より共済改定の内容について質問がありました。執行部からの答弁は以下の通りです。

#### 【質問】・入院給付制度の改定について

「入院給付制度の一部改定が提案されていますが、ガンによる入院については、転移であっても同一疾病扱いとなるのではないかと?」

【回答】改定は60日間の給付を受けた場合、其の人は翌年度、同一疾病による入院では給付が受けられないが、翌々年度、同一疾病による入院の場合、給付されるとするものです。

現状の組織状況では、長期入院が繰り返される場合、共済財政に支障が起きることも予測されます。そのために今回、改定を行なうものです。指摘された点については審査委員会でもその都度、検討を行います。ガンの転移などの扱いについて、新執行部において見解をまとめます。



全員で団結ガンパロー

提案された活動報告、運動方針、財政報告を全員の拍手で確認されました。2011年度、次の新役員で頑張ります。ご支援を宜しく。

執行委員長市瀬正樹(再)、副執行委員長川村好正、相楽茂治、平山和雄、植松隆行(以上再) 井澤智(新)、書記長関根和夫(再)、執行委員、渡辺典章、野中晴、中村元、高橋孝、佐藤盛雄、岩山真一、山田三平、宮澤罔寛(以上再)、会計監査、平田真恵、渡辺輝明(以上再)